

2011年第2問

2 $\triangle ABC$ の頂点を通らない直線 l が、辺 AC 、辺 BC の B 方向への延長線、および辺 AB と、それぞれ点 P 、 Q 、 R で交わり、

$$AP : PC = \alpha : 1, \quad CQ : QB = \beta : 1$$

であるとする。 $\vec{CA} = \vec{a}$ 、 $\vec{CB} = \vec{b}$ として、次の各問に答えよ。

- (1) \vec{CR} を α 、 β 、 \vec{a} 、 \vec{b} で表し、等式 $\frac{AP}{PC} \cdot \frac{CQ}{QB} \cdot \frac{BR}{RA} = 1$ を証明せよ。
- (2) $\triangle QRB$ 、 $\triangle BCR$ 、 $\triangle APR$ の面積比が $1 : 2 : 3$ のとき、 $\triangle APR$ と $\triangle CPR$ の面積比を求めよ。
- (3) (2) のとき、直線 CR と直線 AQ の交点を D とする。線分の長さの比 $AD : QD$ を求めよ。